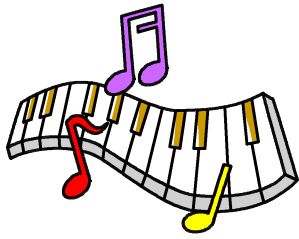


芸術・音楽科

学習指導計画



教科：芸術

科目：音楽ⅠⅡⅢ

音楽の学習目標

音楽は人生の中でとても豊かな時間を提供してくれるもの。そして最良の友となることができる芸術です。

音楽は心や感情といった、なかなか言葉だけでは表現しきれないもの、形にすることができないものを、「サウンド(音)」によって表現することができます。

心のアンテナを磨き、感度を高め、音楽を通して様々な命の表情が表現されていることを感じ取りましょう。そして、そのような表情を自らも表現することができればもっと楽しい時間を味わうことができます。アンサンブルではその楽しい時間を仲間と共有することができます。音楽の授業ではそれらの基礎を学習します。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書(出版社)	主要補助教材(出版社)
音楽Ⅰ	1	必選	2	M o u s a 1 (教育芸術社)	Music Note 基礎から学ぶ 高校音楽(啓隆社)
音楽Ⅱ	2	必選	2	M o u s a 2 (教育芸術社)	交響曲第九番「合唱終曲」 原語カナ付き (音楽之友社)
音楽Ⅲ	3	自選	2	Joy of Music (教育芸術社)	

学習の留意点

音楽では「表現」と「鑑賞」の2大領域があります。「表現」では独唱や少人数によるアンサンブル、合唱といった活動を中心に取り組みます。個々の発声技術や歌唱力を向上させ、ハーモニーやリズムを感じ取り、他と協調しながらアンサンブルする力を伸ばしましょう。また、基礎的な音楽理論(楽典)や音楽史の学習も音楽を深く理解する上では大切なことです。「鑑賞」では様々な時代や国の優れた作品に触れ、多様な音楽のあり方を理解します。また、現代の音楽への理解としてアカペラやジャズ等のポピュラー音楽も学習します。

単元	1 年	2 年	3 年
前期	4	音楽史の学習 ～バロック・古典派～	音楽進路の研究 楽典(上級編) ソルフェージュ(視唱) ソルフェージュ(聴音) 作品・演奏発表
	5		
	6		
	7		
後期	9	ヴォーカル・アンサンブル ～ポピュラー・コーラスによるア・カペラ～	楽典(上級編) ソルフェージュ(視唱) ソルフェージュ(聴音) 作品・演奏発表 学習のまとめ
	10		
	11		
	12		
評価の方法	1	自由音楽会(グループごとのアンサンブル発表会)	作品・演奏発表
	2		
<p>真剣に音と向き合って初めて音楽の意味がわかるはずですが、ですから、演奏に向けた練習への姿勢、鑑賞の場面での態度は大切な評価項目です。さらに独唱、アンサンブル等の実技発表を行い評価します。楽典・音楽史についてはテストを行います。鑑賞については「感想文」等も評価します。自分が感じたことを自分なりに表現することが大切です。</p>			